

平成28年度 第1回上武大学生理学・看護学等研究倫理委員会 議事録

日 時 : 平成28年6月17日(金) 15:00～16:50

場 所 : 法人本部 2階 小会議室

出席者

委員長 : 澁谷 正史

委 員 : 澁谷 朋子(オブザーバー)、生方 政文、
星野 為國、栗原 信征、安部 まゆみ、高橋 ゆかり

欠席者 : 紺 正行、鈴木 守、栗原 寛

記 録 : 上原 恵美

議 題 : 研究に関わる倫理問題の審査について(5件)

資 料 : (1) 倫理審査一覧
(2) 倫理審査申請書コピー

【開 会】

【議 題】 研究に関わる倫理問題の審査について（5件）

1. 野球投手の筋機能、投球動作、および投球パフォーマンスの関連性について

申請者：ビジネス情報学部 准教授 柳澤 修

- ・ 申請者から、研究概要の説明があった。
- ・ 委員から、谷口監督と研究について十分話し合い、監督の了承を得た上で学生の負担とならないよう野球の練習日程に合わせて行い、研究参加には強制力が無いこと。傷害のリスクや対処法等を十分検討するようにとの指摘があった。
- ・ 委員から、研究課題 1,2,3 について、課題 1 は再検討が必要な為、課題 1 の申請と課題 2,3 の申請に別けて申請書を提出するようにとの指摘があった。
- ・ 委員から、研究課題 1 のプロセスについて箇条書きのレジュメを提出するようにとの指摘があった。
- ・ 委員長より、紺先生からのコメントとして、同意撤回について口頭での申し出があった場合でも直ちに撤回を認めるが、その場合には、確認の為に書面（同意撤回書）でも提出してもらうようにとの説明があった。

審査結果：差し戻し

2. 統合失調症患者のケアを続ける家族の支えに関する研究

ー辛さを支えに変えた家族の背景ー

申請者：看護学部 助教 小西 美里

- ・ 申請者から、研究概要の説明があった。
- ・ 委員から、研究計画書のヘッダー部分の研究計画名サブタイトルの脱字を修正するようにとの指摘があった。
- ・ 委員長より、県民健康科学大学の指導教員に大学院卒業後の上武大でのデータの 2 次利用について、文書で確認をとるようにとの指摘があった。
- ・ 委員より、データの 2 次使用について、本学での対応を検討する必要があるとの指摘があった。

審査結果：修正あり

3. 超音波検査による Carpometacarpal boss の描出と単純 X 線像との比較

申請者：ビジネス情報学部 准教授 伊藤 新

- ・申請者から、研究概要の説明があった。
- ・委員長から、病院での検査でX線を受けることはあっても、治療目的でなく被験者に対してX線検査を行うことは一般的には認め難いのではないかとの指摘があった。
- ・委員長より、先行研究で健常者にX線を浴びせるといった事が倫理面できちんと審査された上で行われているのか、その場合、どのような条件で認められているのかを確認して欲しいとの指摘があった。
- ・委員から、研究計画書 22.の研究に伴い被験者に健康被害等の有害事象が生じた場合の補償の②のチェックについても再度検討して欲しいとの指摘があった。
- ・委員長より、紺先生のコメントとして、15.インフォームド・コンセント（説明に基づく同意）の手続きが①のチェックとなっている為、被験者は 20 歳以上と言う事で良いのかとの指摘があった。

審査結果：不明な点が多いことから、差し戻し

4. 男子体操選手における手関節掌部痛の原因解明とその傷害予防

申請者：ビジネス情報学部 准教授 小林 直行

- ・申請者から、研究概要の説明があった。
- ・委員長から、説明文書の【研究の方法】に単純X線撮影や超音波撮影などを実施しますと明記されているとの指摘があったが、代理出席の伊藤先生より、X線撮影については、誤記載であるとの回答があった。
- ・研究計画書 13.研究終了後の対応について、②と③の両方にチェックが入っているが相反するものなので再検討して欲しいとの指摘があった。関連して、説明文書【研究終了後の対応・研究成果の公表】の内容も再検討するとうにとの指摘があった。
- ・委員長より、紺先生からのコメントとして、X線検査を行うのであれば不利益が無いと言うのはおかしいのではないかとの指摘があった。

審査結果：不明な点が多いことから、差し戻し

5. 3 軸加速度計を用いた高齢者の身体活動量－生活活動量に焦点をあてて－

申請者：看護学部 講師 石久保 雅浩

- ・申請者から、研究概要の説明があった。
- ・委員から、被験者の方への説明文書【研究期間】について、研究の実施が承認された日から平成 30 年 3 月 31 日迄と修正するようにとの指摘があった。
- ・委員から説明文書の【研究のための費用】について、この研究の費用は、科研費 基盤研

究（C）および上武大学 一般研究費より支出されますと修正するようにとの指摘があった。

- ・説明文書の3頁目の■を削除するようにとの指摘があった。

- ・研究計画書 13.研究終了後の対応について、②と③の両方にチェックが入っているが相反するものなので再検討して欲しいとの指摘があった。関連して、説明文書【研究終了後の対応・研究成果の公表】の内容も再検討するようにとの指摘があった。

審査結果：修正あり

以 上
閉 会